

# 日本語教育とわたし



- ・ 1993年 日本語教師という職業があることを知り、  
通信教育で日本語教育についての学び始める。
- ・ 1995年 地域の小学校のワールドルームの担当教諭と知り合う。
- ・ 1997年 自宅で、中国人とパキスタン人に日本語を教え始める。
- ・ 1998年 小学校の空き教室を借り、日本語教室を立ち上げる。
- ・ 2000年 日本語教育能力検定試験に合格
- ・ 2004年～現在 兵庫日本語ボランティアネットワークに所属
- ・ 2005年 大学院修士課程を修了（地域日本語教育向けの教材について研究）
- ・ 2005年～2008年 日本語学校非常勤講師
- ・ 2007年～現在 大学非常勤講師  
（現在は日本語教育養成科目とコミュニケーション系一般教養科目を担当）
- ・ 2010年 再び大学院博士前期課程に入学するも中途退学（自己主導型学習について研究）
- ・ 2019年7月～現在 （公財）神戸国際コミュニティセンターで

総括コーディネーター兼地域日本語教育コーディネーター

この先生との出会いにより、地域日本語教育に関わることになった。

日本語が十分でない保護者の引きこもりを防ぐ目的で、教室を始めた。

日本語学習ボランティアをしている時、『新日本語の基礎』の使いにくさを実感し、地域日本語教室で使用する教材について学ぼうと思った。

このあたりで青木直子先生と出会い、学習者オートノミーにハマリ、現在に至る。



# (公財) 神戸国際コミュニティセンター (KICC)における 総括コーディネーター兼地域日本語教育コーディネーターの主な業務

## 【企画】

事業全体:文化庁への申請書案作成／報告書案作成

日本語学習:初級クラスと夜間中学夏期日本語教室のコースデザイン

日本語指導者養成:各種養成講座の企画

(対象:地域日本語教育コーディネーター、日本語ボランティア、KICC登録講師)

## 【運営】

事業全体:文化庁への申請書に基づく各取組の進捗状況の把握と予算管理、外部団体などとの交渉

日本語学習:KICC登録講師の確保と育成、授業見学(初級クラス、夜間中学夏期日本語教室)

日本語指導者養成:各種養成講座の講師及び外部講師との調整、KICC登録講師ミーティングと勉強会の開催、夜間中学などでの日本語教育研修の講師

自律学習の推進:評価ツールの作成、学習アドバイジングの実施(対象:学習者、ボランティア、登録講師)

企業との連携:日本語教師紹介事業のための企業訪問及び企業が集まるイベントなどでの広報

日本語教室との連携:教室訪問、教室連絡会議の開催

外部会議への出席:文化庁関係、兵庫県国際交流協会、ひょうご日本語ネットなど

# ウクライナ避難民支援の概要

## 受け入れ状況

47世帯77名(令和4年10月末時点)

## KICC・NPO等との連携による生活支援

- 毎日の生活で困らないよう、神戸国際コミュニティセンター(KICC)にワンストップ対応の相談窓口を設置
- 市営住宅や宿泊施設の提供、生活費の支給、医療・健康保険、銀行口座開設、就学、就労、ビザ・渡航・検疫、メンタルケアなどを支援

避難民一人一人の状況や要望をうかがいながら、  
速やかな自立支援につなげる



**BE KOBE**



## 避難民向け初級日本語教育の概要

日本語学習を希望する避難民を対象に、生活日本語を  
①短期集中で習得、②継続的に学習できる機会を提供

※10月末までに44名の方が学習

### ①ウクライナ避難民のための日本語クラス～『神戸で暮らそう』

趣旨:早期の自立的な生活環境構築を目的とした短期集中プログラム

実施:神戸国際コミュニティセンター(6月20日～12月15日)

### ②ウクライナ語で学ぶKFC日本語教室

趣旨:コミュニティ形成支援も兼ねた継続的な学習機会

実施:神戸定住外国人支援センター(KFC)(5月19日～3月2日)

一刻も早く神戸での暮らしに慣れ、平常の生活を送ることができるよう、きめ細かな日本語教育を実施

## 日本語学習希望者の生涯にわたる日本語学習を支えるための取組

アドバイジング  
(学習者・登録講師・ボランティア)

評価ツールの  
作成

多様な  
学習機会の  
設置

KICC登録講師  
とボランティアの育成

基本となる考え方：自己主導型学習の促進

# 日本語学習者が自律的に学習する能力の育成

## 学習者オートノミー

## 学習者オートノミーとは

### ◆ 学習者が自分自身の学習を管理する能力

=自分の学習に関する意思決定を自分で行うための能力  
たとえば、以下の項目について自分で決めること

学習目的

目標

学習内容

学習  
リソース

学習順序

学習ペー  
ス

場所

評価方法

## なぜ、学習者オートノミーを育てるのか

自然習得していく母語とは違い、外国語は生涯にわたり意識的に学び続けることになるのだが—

- ◆ 生活者としての学習者は、育児、仕事、介護などの合間を縫って学習することになる。
- ◆ 学習を再開したとき、今の自分の学習目的は何か、自分の日本語のレベルはどのくらいか、これからどのくらいの時間を学習に費やせるのか、などを自問できなければ、効果的な学習ができなかったり、学習に対する興味が失せたりして、学習を断念することにもなりかねない。

## でも、学習者オートノミーを育てていけば

- ◆ 学習を再開しようとしたとき、学習者自身が自分の日本語レベルを把握し学習目的を明確にできれば、自分が必要とする日本語を自分の好みのスタイルで学ぶことができる。
- ◆ なんらかの理由で学習を継続できなくなったとしても、学習者オートノミーが高い学習者は、学習の機会が教室だけではないことにも気づくので、日常生活の中でも学習を継続できる。



SORRY  
WE'RE  
CLOSED

Green Green

Green Green

KANA

緑  
ワ  
て  
ロシエワ

# 神戸国際コミュニティセンター (KICC) について知りたい方は・・・

KICC Kobe International Community Center

Search Language Menu

2023/03/29 10:30 - 11:30  
キッズ国際広場～春休み特別版～

KICCでは、毎月1回、小学生向け国際交流イベント「キッズ国際ひろば」を開催...  
ています。

PDFを見る

申し込みフォームへ

2023/03/31 11:00 - 12:00  
キャリアサポート (御影)

PDFを見る

2023/04/03 11:00 - 12:00  
キャリアサポート (新長田)

PDFを見る

イベントをもっと見る

What's New

KICC

